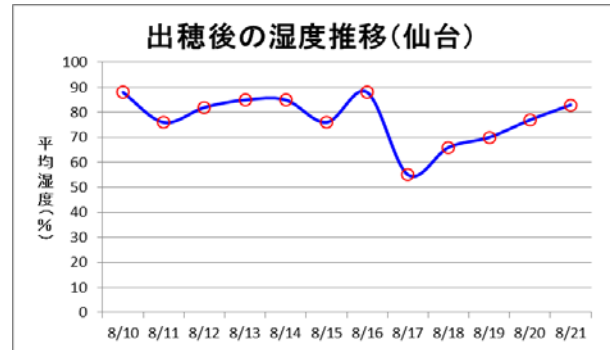
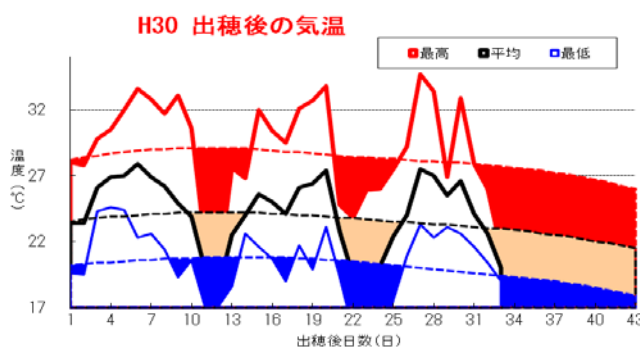
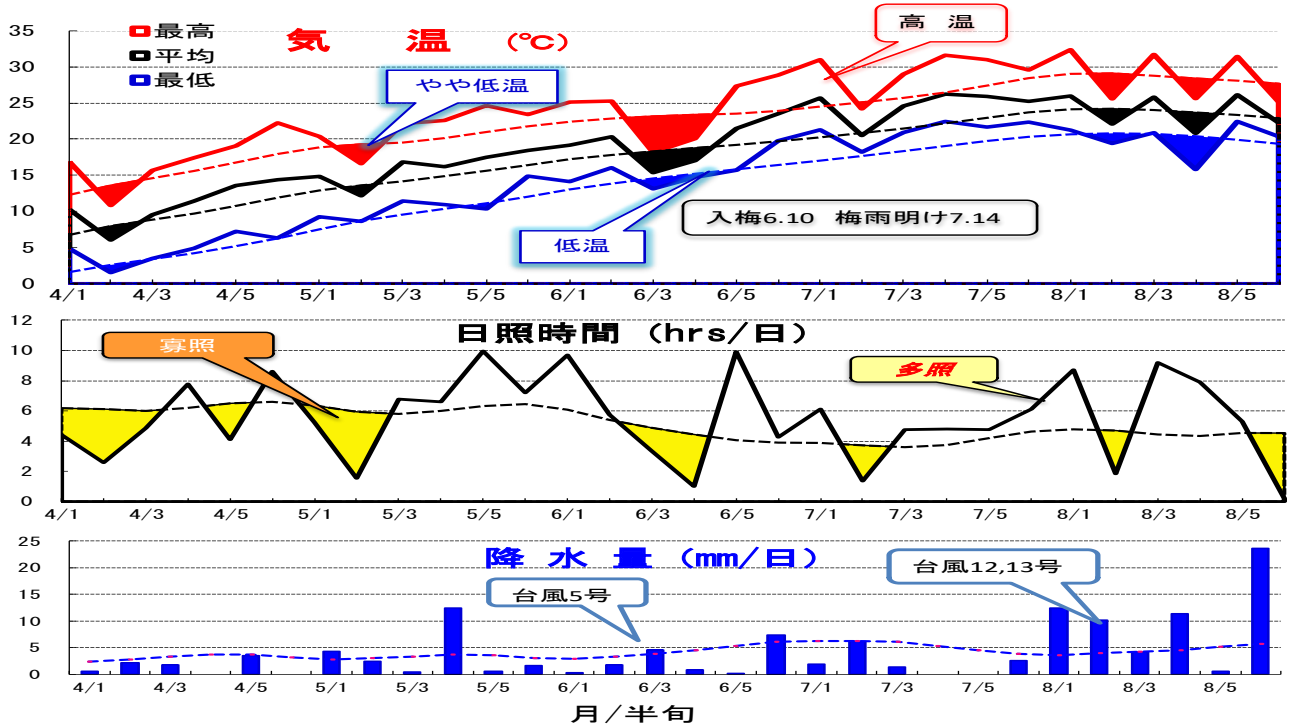


～秋雨前線で気象は一転、高品質・高生産確保のため適期刈取を！！～

1 気象経過（古川・田植後）



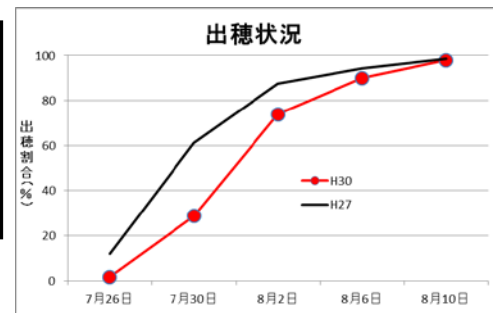
- ・ 7月は高温多照，8月は寒暖差の大きい気象で平年より低いや高い日が数日間隔で出現した。
- ・ 日照時間は，概ね多照で8月26日から連続降雨で寡照傾向である。
- ・ 降水量が少なく，一時限定地域で渇水状況となったが，その後，前線の影響で多雨傾向である。
- ・ 8月17日のフェーン現象で沿岸部中心に湿度が急に低下し，白穂が散見された。

2 出穂状況 [8月6日現在]

※穂揃期は，平年より2日早い8月9日（平年8月11日）

県内の出穂状況

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	7月28日	7月31日	8月9日
前年	7月29日	8月1日	8月11日
平年	8月1日	8月4日	8月11日
平年差	4日早い	4日早い	2日早い



3 出穂後の状況（石巻の調査圃平均）

- ・ 稈長，穂長はやや短く， m^2 当穂数は，平年並～やや少ないと思われる。
- ・ m^2 当りの着粒数は，平年並～やや少なく，沈下率は平年より高い傾向である。

[8/28 現在]

品 種	m^2 穂数 (本)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	m^2 着粒数 (粒)	沈下率 (%)
ササニシキ	453	81.7	17.6	35,025	80.5
ひとめぼれ	454	81.9	17.9	29,145	84.3

4 今後の管理

(1) 適期刈取

- ・ 「ひとめぼれ」の刈取適期は，積算気温から9月9日頃～9月18日頃になると見込まれる。

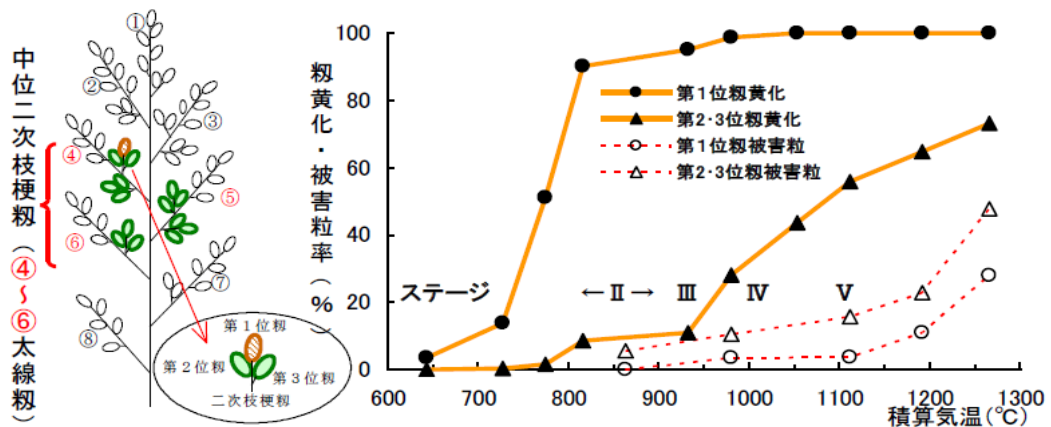
注) 出穂期や m^2 当り数の違いにより登熟の進展が異なり，圃場毎に熟色等を観察して刈取適期を判定する。(H29年産は積算気温では判断できなかった。)

成熟段階Ⅲ：第1位粒が殆ど黄化し(95%)，第2，3位粒が黄化開始(刈取り早限)

成熟段階Ⅳ：第1位粒の黄化100%，第2，3位粒が30%黄化(積算気温1000℃程度)

成熟段階Ⅴ：第2，3位粒が50%以上黄化(刈取り晚限)

刈取適期



5 気象予報（仙台管区气象台公表）9月1日～

- ・ 降水量は，平年並か多い確率40%，日照時間は，平年並か少ない確率40%
- ・ 週別の気温は，1週目平年並か高い確率40%，2週目は平年並の確率50%

【1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)】

【気温】	30	40	30
【降水量】	20	40	40
【日照時間】	40	40	20

◆週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	20	40	40
2週目	30	50	20
3～4週目	40	30	30

■ 低,少 ■ 並 ■ 高,多